

【めむろ未来ミーティング日程2】

令和7年1月7日(火)

13:30~14:30

■参加者 13人

■芽室町 町長、副町長、教育長
農林課長、環境土木課長、環境土木課参事、
魅力創造課参事、政策推進課長

■記録 広報広聴係

■対応・検討が必要な事項

①上伏古コミュニティセンターが寒い(都市経営課)

- 1 開会
- 2 町長挨拶
- 3 町からの説明事項
資料1 ゼロカーボン
資料2 新嵐山スカイパークランドデザイン
- 4 意見交換

【参加者】

eスタートの話があったが、交差点で右折するのを待っている車があって、なるべく早く何台か行った方がいいのではないかとこのときに、こういうことをオススメされると、次の信号で行けたものが次の次になるなど、結局あまり効果がないのではないと思うが、どう考えているのか。また、EV車に替えたらCO2排出量が削減されるというのはわかるが、車を買うのにもお金がかかるし、電気代もどんどん高くなっている状況で、本当にそれを進めてよいのか。電気も毎回毎回近くで充電できるものなのか。

【環境土木課参事】

車の乗り方でいえば、同じ速度で走る性能など、いろいろな性能がある。それらによって排出量も削減されていくことになる。時間がかかればその分だけ排出

量も増えるというのは、例えばeパワーの車など、性能で変わってくる。将来的に車が替わってきたら、効果は見込める。ゼロカーボンの話になると、どうしてもコストはかかってくる。町としても補助をしていくし、国としてもEV車購入で最大55万円の補助金を支給するなどうたっている。しかし、それ以上にお金がかかってくる。自宅でEVを入れるにしても給電機を付けなければならない。その分のコストはかかる。ただ、将来にいくに従って、だんだんとそういったものに転換していく流れは出てくる。私どももそういった資料や情報を提供しながら進めていきたい。

【参加者】

そういうことを全部説明してくれないと、現状でeスタートを切りましょうというようにしか聞こえない。メリット、デメリットはあると思う。

【環境土木課参事】

今お話しした内容も含めて、メリット、デメリットをホームページや広報誌で発信していく。

【参加者】

トラクターも使うが、それらも自家用車と同じように言われるようになってくるのか。

【環境土木課参事】

今の段階ではトラクターにもEVや電気をという話にはならない。

【参加者】

国からの施策なので、いろいろあると思うが、そういったことをしっかり伝えたいので進めてほしい。

【町長】

町としては、国の方針もあるし、道の方針もあるので、それに従って進めていく。十勝管内の市町村は全部ゼロカーボンシティ宣言をすることになっている。芽室町は19市町村のうち18番目に宣言をし、遅かった。それは東工業団地を含めて何百社と企業があって、ものすごい二酸化炭素を出している。だからそれをゼロに

するのはすごく難しく、簡単に宣言だけではできないと思ったので、計画を作って ①公共施設での省エネへの取り組み ②公共施設への再生可能エネルギー導入 ③J クレジット事業への参画 ④環境・ゼロカーボンの学習機会の確保(セミナー等の実施) ⑤再エネ・省エネ導入への補助事業 この5つをきっかけとして進めていく考え。町民の皆さんにいきなり取り組んでもらうのは現実に難しいと思うので、まずは公共施設で取り組んで、役所が先導して進めていこうという考えを持っている。省エネ対策も皆さんで取り組んでもらえたら、かなりの削減になるのは事実だが、意識として浸透していくには時間がかかることだと思っている。成果が目に見えにくく、本気で取り組みにくいところはあると思うが、目指すところはあるので、町として支援を含めて頑張っていきたい。

【参加者】

まず公共施設からということであれば、①上伏古コミセンについて、寒いなどいろいろな要望を過去にさせてもらっている。建てたときの北大の意見も聞かなければならないということで、なかなか要望が通らないところもあるが、まず上伏古コミセンを使いやすいように、町主導で対応してほしい。

【町長】

ご要望いただいているので真摯に対応したい。

【参加者】

コンビニ交付の開始について、200 円のところ 100 円で交付できるという点を大々的にアピールしているが、そうではなくあと半年で役場内にある自動交付機が使えなくなることを周知した方が、コンビニ交付の利用にもつながるのではないかと。

【副町長】

チラシにキャンペーンのような字が出ているが、キャンペーンをして値段を安くすることが目的ではなく、ひとつは、役場の入り口にある自動交付機が、保守がきかなくなり、新しく入れ替えると何百万というお金がかかるため、時代の流れに合わせてコンビニで交付でき

るようにしたいというところがひとつの理由。それと DX といって、デジタルを使って働き方を変えようとしているなかで、どうしても印鑑証明や戸籍を発行するのが、3 月と 4 月に集中する。窓口で町民の皆さんが集中して時間がかかってしまう。印鑑証明や住民票だけであれば、役場に来なくてもコンビニで取得できるようになるため、できれば役場の窓口ではなくて、コンビニに誘導したいという意味を込めて、期間限定で割引をすることになった。役場の交付機は近々撤去するため、窓口交付の場合は職員が対応する必要が出てくる。その部分をコンビニでお願いしたい。

【参加者】

南小学校の教育委員をしていて、先日地域宛てに小中学校の配置計画の説明会の案内があったのだが、地域宛てに送られてきたものが学校をとおしたのではなく、年末に学校に確認したら把握していなかった。仕事始めの昨日電話したのもあって、確認するとのことだったが、何か知っていれば教えてほしい。

【教育長】

学校配置計画の会議は教育委員会主催であるため、学校からの文書ではなく、教育委員会から PTA もしくは南小校区の協議会を通じて全戸に配布するように依頼している。そのため、学校が待ちや受けの姿勢になっていたものと思う。学校が主として配布するのではなく、委員会からの情報をもって開催がわかることなので、直接学校がコントロールしていたわけではない。校長宛てには説明会の通知はしている。

【参加者】

私のもとには、12 月 24 日に文書が届いた。たまたま 12 月 26 日に学校へ行ったら、校長先生も教頭先生も説明会の実施については知っていたが、地域向けに案内が来ていることを知らないということだった。

【教育長】

1 月 27 日には意見交換会があるが、説明会は令和

7年度、8年度と2年続けて実施する予定なので、その時にはそういったことがないようにしたい。

【参加者】

新嵐山スカイパークのグランドデザインの説明のなかで、ビジターセンターの話があったが、国道38号線沿いには道の駅がほとんどなく、新得町に道の駅ができるという話があるので、そのような機能をもったなかで、芽室町をアピールできるような施設にしてほしい。

それと、新嵐山の民間活用ゾーンだが、町としてどのようなことを想定して、どのような民間企業が入ってくることを想定しているのか。

【町長】

まず道の駅のご意見は結構いただいているが、現段階で道の駅とセットで整備するということは考えていない。それはなぜかと言うと、今ちょうど調査していて、経営の問題ではあるが、十勝管内で表向きは差し引きゼロで、プラスになっているところがたくさんあるものの、道の駅というのは24時間365日トイレと会議室を開けていなければならない。夏場の売り上げはものすごくある一方で、冬は人を雇ってしっかり管理をしていかなければならなくて、さらに生鮮野菜等がないとすれば、加工品等売っていくしかなく、端的に言うと採算が取れていないところが多い。調べている最中だが、例えば音更町や中札内村はプラスになっていることは間違いなく、魅力があるところだと思うが、その他の道の駅については、町から相当のお金が入って、差し引きゼロに見せているなど、経営面の話にはなるが、そういった意味で踏み込めるかどうか悩ましい。ただ、おっしゃるとおり魅力あるところになければならぬため、必ず道の駅でなければならないのかなど、他の手法も考えなければならないので、ショップとビジターセンターだけではなく、構想としては商業施設のようなものがセットで、ということも考えている。いろいろなものを売るような場所としても考えていきたい。モンベルのショップもいろいろなご意見はあるが、集客力としては結構あると思っているのと、おそらく十勝、釧路、根室のシェアはかなり取れると思う。たぶんショ

ップが道東にできるとしたら1か所のみ。モンベルとも話をしているが、札幌近辺以外で出店しているところが、東川、小清水、南富良野、留萌と、方面ごとにエリアは決まってしまうと思う。十勝に2か所ということはないと私は思っている。逆に言うと、それだけショップの価値は非常に大きい。なんとか芽室町にと強く思っている。もうひとつ、まちなか再生の視点で、ショップには来るけど街中にいかに引っ張ってくるかということもしっかり考えないといけない。客が取られるというご意見の方もいるが、そういうことにはならないと思いつつも、商店街や商工会の皆さんとも街中のにぎわいのために考えなければいけない。

民間活用ゾーンについて、資料の図で緑と赤に分けていて、町として緑の部分は今後もしっかり活用して、維持管理していくという意味で、都市公園という位置づけをしたいということが一つ。もう一つはお金の面があって、都市公園に編入できると有利な国の補助が受けられる。今回の整備の財源にも活用できるので、都市公園に編入したいという思いがある。

一方で民間活用のところは、今ワイナリーがあり、旧オートキャンプ場等もあったが、このエリアをまちとして将来にわたって何かで活用するという構想がなく、今後も考えにくいと判断したため、赤い部分は民間の皆さんが自然等を生かして何かをしたいというところがあれば公募をして、民間に入ってもらっていて、大きな開発ではないがしていただきたいと思っている。何でもここに来て、いろんなことやっていいとは思っていないとあって、このスカイパークの目的に合った活用をしてもらえるところに、貸したり売ったりするという考えがある。令和8年度に募集をかけていきたい。新嵐山株式会社の倒産でご迷惑をおかけしたが、決算の中でも宿泊機能がかなりのマイナスになっている。例えば、宿泊機能や温浴施設といったものは、何か今のところ目処があるわけではないが、民間活用ゾーンとかで整備の可能性があると思っていて、町が直営でホテルや温浴施設を運営するつもりはない。

【参加者】

都市公園の件で、公共施設を建てても、人口が減ってきているなかで、町外から人を持ってくるよう

ないイメージになると思っていて、実際十勝管内どの町村も同じようなことを考えているのではないかなと思っています。芽室町の施設なので当然ながら芽室町民の想いが入ったものになればいいと思っているが、管内の町村からも意見を聞いたらよいのではないかな。

それと、農業も人手が足りなくて夏場は人が欲しいけれど、冬場は仕事がないなかで、冬場はスキー場で働いてもらって、夏場は農作業に関わってもらえるような機能もあったらよいのではないかな。

【町長】

計画している屋内遊戯施設にはモデルがあって、南幌町にある「はれっば」という建物を参考にしたい。札幌から近いので、芽室とは環境が異なるが、屋外の遊戯施設はエコロジーパークや忠類、足寄など結構あるが、通年で屋内で遊べる施設は十勝にない。先ほど言った「はれっば」は、オープン以来1年で20万人くらい来館がある。芽室町総合体育館のキッズスペースにも非常にたくさんの人に来ていただいて、この人口減少で子どもが少なくなっているなかで、町外からも来ていただいて、20万人は厳しいかもしれないが、集客ができると思ったので、今回屋内遊戯施設というのを提案させていただいている。そもそも新嵐山の改革のスタートの時にスキー場と言いながら、いまは雪がない。雪が多いか少ないかで経営はふらつく。そうではなく、通年で稼げる施設が必要だと思った。今のニーズ等をいろいろ考えていくとファミリー層を呼び込める屋内遊戯施設が非常によいのではないかなと思った。音更町でも屋内遊戯施設をつくるということだが、少し場所も遠いのでこちらに呼び込めると思う。それで安定経営にもっていきたい。屋内遊戯施設ばかり言っているが、今まで皆さんも新嵐山のレストランを地元の食堂みたいに使用していたように、そういった機能も持たせたい。屋内遊戯と食、それと夏場はキャンプがありますし、ドッグランもある。冬はスキーをメインにするが、ベースになる通年の施設があって、他にも魅力があって、コンスタントに通年来てもらえるような場所にしたい。

それと人手が足りないというのはその通りで、通年雇用を考えなければならない。例えば今コンサドーレ札幌の関連会社である株式会社まちのみらいがスキー場の管理をしてくれているが、スキー場だけ雇うというのは厳しいと思う。夏の公園機能の維持管理などもしていただいて、通年で雇用できないか。外国人労働者もあるが、そういったことを含めて通年雇用できる体制にしないと、なかなか雇用は難しい。そこも頭にいれていく。

14時30分終了

